



CORPORATE REPORT 2024

2024年12月期
第2四半期決算報告

2024年1月1日



2024年6月30日

GMO INTERNET GROUP

証券コード：9449

超長期計画55ヵ年計画 の達成に向けて

代表取締役グループ代表
会長 兼 社長執行役員・CEO

熊谷 正寿



岩盤ストック収益は盤石、自己株取得の増枠を発表



私たちGMOインターネットグループは「GMOイズム」という共通の価値基盤に基づいて経営を進めています。「不変の目標」のほか、様々な経営ノウハウをまとめたもので、インターネット事業を開始した1995年から唱和・実践し続けている社是・社訓に相当するものです。このGMOイズムの中に社内コミットメントの超長期計画として2051年に売上高10兆円、経常利益1兆円の企業グループを目指す「55ヵ年計画」があります。

当第2四半期の連結業績は増収減益の決算となりました。No.1サービスの集合体、岩盤ストック収益に強みを持つインフラ事業は、3四半期連続して90億円を超える利益創出となり、極めて好調に推移しました。一方、金融事業ではタイ証券事業にかかる引当金の計上がありました。こちらについては今期中で問題を終息させるべく、年内での信用取引サービスの終了を決定しました。

なお、足元の株価水準、今後の業績見通しから総合的に勘案し、自己株式の取得枠を50億円に拡大することとしました。今般の持株会社体制への移行により、成長スピードを加速させ、我々の超長期計画である「55ヵ年計画」の達成、企業価値の拡大を目指してまいります。株主の皆様には今後も格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ダイジェスト (2024年4月1日▶2024年6月30日)

▼第2四半期決算のポイント

当第2四半期	
売上高	営業利益
 67,619 百万円	 9,573 百万円
(前年同期比 4.9% 増)	(前年同期比 0.6% 減)

▼セグメント別の概況 (単位百万円、カッコ内は前年同四半期比増減率)

インターネットインフラ事業

売上高 45,655 (7.3%増) 営業利益 9,449 (57.3%増)

当四半期のポイント

- 岩盤ストック収益の積み上げで四半期売上高の最高値を更新
- 営業利益は3四半期連続で90億円を超え、高水準を維持

インターネット広告・メディア事業

売上高 8,250 (2.2%減) 営業利益 563 (57.3%増)

当四半期のポイント

- 構成比の大きい広告代理が弱含みで推移し、売上高が減少
- 自社商材の好調と営業体制の効率化が寄与し、増益を確保

インターネット金融事業

売上高 10,852 (11.5%減) 営業利益 △676 (-)

当四半期のポイント

- CFDは好調も、FXは活況だった前年からは低調に推移し減収
- タイの証券事業における貸倒引当金繰入額45億円を計上

暗号資産事業

売上高 1,784 (86.1%増) 営業利益 385 (-)

当四半期のポイント

- 市況の盛り上がりを受けて交換事業の取引高・収益が拡大
- 前年同期までの赤字から脱却し、3四半期連続で黒字計上

クローズアップサマリー

▼グループ経営戦略

グループを再編し、持株会社体制へ移行

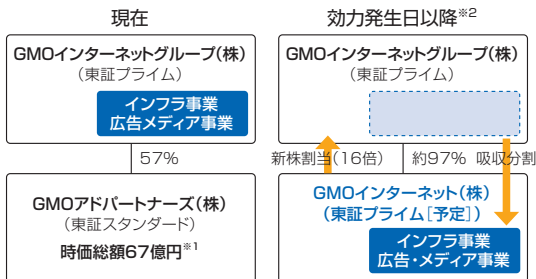
当社は、2025年1月1日付でインターネットインフラ事業およびインターネット広告・メディア事業を吸収分割の方法により、GMOアドパートナーズ株式会社へ承継し、持株会社となる予定です。そしてGMOアドパートナーズ株式会社は、この吸収分割により「GMOインターネット株式会社」に商号変更し、グループの中核事業会社として新たにスタートします。

持株会社体制へ移行する目的は、大きく三つあります。

一つ目は、超長期目標である55ヵ年計画の達成です。同計画は、1998年に社内コミットメントとして設定したもので、2051年に売上高10兆円、経常利益1兆円の企業グループを実現する構想です。持株会社体制への移行により攻めの経営体制を確立し、計画達成に向けて成長スピードを加速します。

二つ目は、AI・ロボティクス革命の推進です。2024年6月に設立したGMO AI&ロボティクス商事株式会社を中心とする新たな事業展開に向けて、グループシナジーをスムーズに創出すべく、持株会社化によって商流を整理し、AI・ロボティクス革命を最速で駆け抜けていきます。

そして三つ目は、グループ経営機能の強化です。持株会社として管理機能に特化し、持続的成長を実現するための体制をより強固にしていまいります。



※1 2024年8月7日時点 ※2 2025年1月1日



55ヵ年計画の達成を支える三つの強み

「クローズアップサマリー」でご説明しました通り、当社グループは55ヵ年計画の達成に向けて、持株会社体制へ移行し、成長を加速していきます。計画達成を支えるのは、これまで培ってきた三つの強みに他なりません。

その一つは、自社開発・運用による強みです。No.1サービスを実現するのは、ものづくりへのこだわりであり、私たちはエンジニアやクリエイター、ディレクターなど多くの「つくる人」をグループ内に擁しています。2024年6月現在、当社グループのパートナー（従業員）は7,500名余りとなっていますが、その半数を「つくる人」が占めています。引き続きAI人財・高度人財の採用に注力し、自社開発・運用による強みをさらに強化していきます。

二つ目の強みは、インターネットインフラ事業の各商材がもたらす岩盤ストック収益です。インターネットが続く限りなくなるしない、必要不可欠なサービスを継続課金で提供し、その高い品質によってNo.1のポジションを保持することで、当社グループは持続的成長を遂げています。

三つ目の強みは、リスク分散・自立経営です。私たちは、グループ各社が得意とする領域に経営資源を重点投資し、No.1を確立することをマーケティングの基本戦略としています。そして各事業を特定の商材や人材、取引先に依存しない形で運営することで、リスクを回避しています。

今後もこの三つの強みに磨きをかけ、100年単位で継続する企業グループを築いてまいります。

強み① 自社開発・運用

エンジニア・クリエイター比率 目標 **60%**

強み② 岩盤ストック収益

無くならない、無くてはならないかつ継続課金の商材

強み③ リスク分散・自立経営

特定の商材・取引先・パートナーに頼らず
結果としてリスク分散されている経営

商材数^{※1}

93商材

取引先^{※2}

1,506万件

パートナー数^{※3}

約**7,800**名

※1：出所 <https://www.gmo.jp/service/list/> ※2：インフラ契約件数

※3：持分法適用会社のパートナー数を含む

株主様向けインフォメーション

1 四半期配当

▼期初方針に基づき6.9円の配当

(単位：円)	1Q	2Q	3Q	4Q	配当総額
2024年	17.2	6.9	—	—	24.1
2023年	12.2	7.5	10.2	14.2	44.1

2 株主優待

6、12月末日において1単元以上所有の株主様に対し、株主優待関連書類を郵送にて送付しています(郵送の目安:6月末「権利確定」→9月下旬/12月末「権利確定」→3月中旬)。下記1~4の内容すべてを併用いただくと**12,100円相当**と大変お得な内容になっております。

- 1~4すべて利用可能
- 1.GMOコインにおけるビットコイン付与2,100円分
 - 2.GMOクリック証券における当社株式買付手数料キャッシュバック
 - 3.GMOクリック証券での売戻手数料キャッシュバック
 - 4.GMOインターネットグループがご提供する各種サービスのご利用料

「株主優待のご案内」もご覧ください。

詳細につきましては同封の「株主優待のご案内」に記載の内容をご覧ください。ご利用方法やお得なサービス等をご紹介します。

※ログインには「株主番号」「郵便番号」が必要となります。
株主番号につきましては同封の「配当金計算書」をご参照ください。または、三井住友信託銀行株式会社(下記連絡先ご参照)でもご案内しております。



※株主優待の申請手続きやより詳しい情報につきましては専用ホームページをご確認ください。▶ <https://yutai.gmo.jp/>

3 お問い合わせ先

●株主優待はこちら(GMOインターネットグループ株式会社 株主優待事務局)

専用ホームページ <https://yutai.gmo.jp/>

お問い合わせ先 03-6633-4355

(受付時間:土日祝祭日及び会社休業日を除く平日10:00~18:00)

●株式事務手続きはこちら(三井住友信託銀行株式会社 証券代行部)

0120-782-031 (フリーダイヤル)

(受付時間:土日祝祭日等を除く平日9:00~17:00)